

こんな学校でありたいⅤ

～ 多様性を認め合う学校をめざして～



令和5年2月

茨城県教育研究会 人権教育研究部

茨城県は令和3年7月に「年齢や性別、国籍や障がいの有無、性的指向などにかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会」を実現することを目的に「いばらきダイバーシティ宣言」を発表しました。多様性を認め合う社会の実現をめざすとき、学校教育の果たす役割はとて重要です。そこで本冊子では、特に「性的マイノリティの児童生徒」「障がいのある児童生徒」「外国人の児童生徒」に対する支援を取り上げ、教師の言葉かけの例や配慮の観点を掲載しました。本冊子が多様性を認め合う学校づくりの参考になれば幸いです。

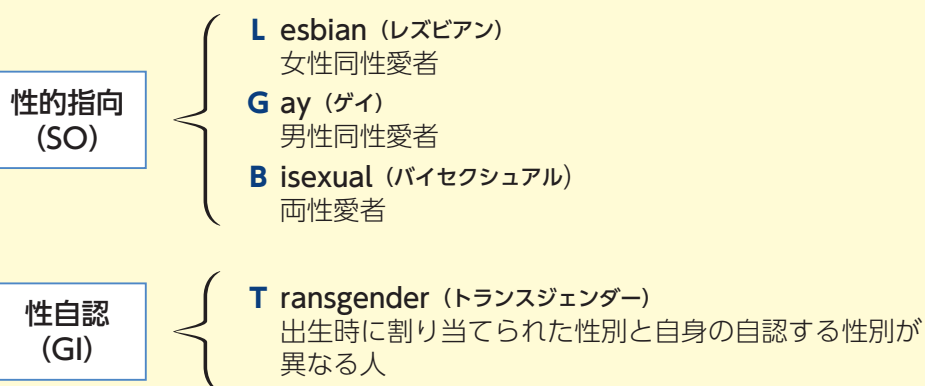
多様な性のあり方について理解を深めるために、知っておきたいこと

1 性を構成する要素

- 性には様々な要素があり、その要素の組み合わせで、様々なセクシュアリティ（性のあり方）が形作られていますが、性のあり方（セクシュアリティ）は、とても多様です。
- 同性に恋愛感情を持つ人や、生まれ持った性（出生時の性）と心で感じている性（自認の性）が一致しない人などのことを「性的マイノリティ」、「セクシュアル・マイノリティ」、「性的少数者」などと言います。
- 日本には性的マイノリティの人が8～10%（約10～13人に1人）いると言われています。

2 LGBTとSOGI（ソジ）

- LGBTとは、レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーの頭文字をとって組み合わせた言葉で、一般的には性的マイノリティの総称を指す言葉として使われています。なお、性的マイノリティは「LGBT」の方々だけでなく、その他にも多様な人々が存在します。
- 「SOGI」とは、性的指向（Sexual Orientation）と性自認（Gender Identity）の頭文字をとった総称です。
- L、G、B、Tが特定の性的マイノリティの人を指すのに対し、「SOGI」はすべての人が属する、性的指向・性自認の総称であり、性のあり方の概念を表す言葉です。



「茨城県 多様な性のあり方を知り、行動するための職員ガイドライン」より抜粋

性的マイノリティに対する支援



「〇〇さんの笑顔は
とてもすてきですね。」

- 性別によって呼び方を変えず、「～さん」と呼ぶようにします。
- 児童生徒名簿、教室の座席表を男女混合にします。

「制服は選択できます。」

- 制服は、性自認に合わせたものを着用できるのが望ましいです。
- 水着は、上半身を覆うものを着用してもよいこととするなどの配慮が大切です。また、水泳の授業をレポート提出などで代替する方法もあります。



「保健室を更衣室として
使ってもいいですよ。」

- 本人と話し合った上で、時間をずらした部屋の利用を認めたり、保健室や多目的トイレ、空き教室等を更衣場所として使用できるようにしたりするなどの配慮が考えられます。

「このトイレは、誰でも自由に
使うことができます。」

- 教職員用や多目的トイレを使用できるようにするなど、本人の希望を尊重しながら、施設面の制約や周囲の理解を踏まえて対応することが考えられます。





「みんな一人一人が、
大切なメンバーだよ。」



- 児童生徒や保護者の希望を聞いた上で、本人の希望する部活動に参加できるような仕組みを整えることが大切です。

「大浴場でも部屋のお風呂でも、
自由に選んで使ってください。」

- 宿泊学習や修学旅行では、時間をずらしてお風呂を使用したり、部屋のお風呂を利用したりするなど、本人の希望をよく聞いて柔軟な配慮をすることが必要です。
- 同行する養護教諭から入浴時間に自然に呼んでもらうことも考えられます。



チェックリスト

性的マイノリティに関する認識を確認しましょう。当てはまるものにチェックしてください。

- | | | |
|---|-----------------------------|------------------------------|
| ① ○○さんと呼名していますか。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| ② 制服は性別によらず選択できるようになっていますか。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| ③ 更衣室が設置されており、利用時には、個々に配慮がされていますか。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| ④ 誰もが自由に利用できるトイレがありますか。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| ⑤ 性別によらず誰もが希望する部活動に所属できていますか。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| ⑥ 宿泊学習や修学旅行において、部屋やお風呂の使用に対して個別に配慮していますか。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |

障がいのある児童生徒に対する支援

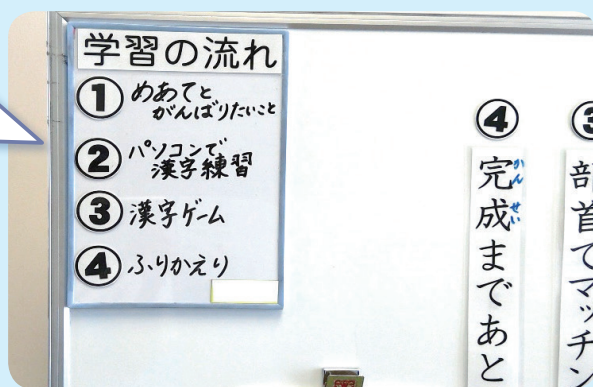


「きちんと片付けられたね。」

- 道具箱の中を仕切ったり、持ち物をチェックするためのシートを活用したりすることで、自分でできる体験を積めるようにすることが大切です。

「今日は〇〇と△△を学習します。」
「しっかりと話が聞けていますね。」

- 授業の流れを明確に示して集中できるようにしたり、黒板周りを整頓して余計な刺激を減らしたりするなどの手立てが有効です。



「お友達と協力して
うれしかったんだね。」



- 気持ちを代弁したり、活動後によりよい行動を伝えたりすることで、好ましい行動を増やしていくことができます。

発達障害のある児童生徒はそれぞれに多様な問題を抱えています。教師の無理解や誤った対応による失敗体験を重ねると、適応障害といった二次障害に陥る危険があります。

まずは、行動の背景を探り、障がいを理解することが大切です。

その際のポイントは・・・

児童生徒の困り感と
向き合う

複数の目線で

組織として

保護者にも
寄り添って

その上で、児童生徒の特性を生かしつつ、「できないこと」ではなく、「できること」、「できそうなこと」を伸ばすための手立てや支援を考えていきましょう。

外国人の児童生徒に対する支援



「〇〇（国名）の言葉で
書いてください。」
「これは〇〇（国名）で、
勉強しましたか。」

- 学習面でのつまずきがあったときに、母国との教育課程の違いや、課題の解決の仕方などの違いが原因であることが多くあります。母国での学習環境や、学習歴、既習事項などについて十分に確認し、それに応じた指導をする必要があります。

「〇〇さんは、病気で休みですか。」

- 英語よりも『やさしい日本語』のほうが通じることがあります。
- 例えば、「お子様の欠席理由は何ですか」ではなく、「〇〇さんは、病気で休みですか。」と話すことで、スムーズなやりとりができるようになります。



在留支援のためのやさしい
日本語ガイドライン（文化庁）



別冊 やさしい日本語
書き換え例（文化庁）



「心配なことはありますか。」

- 入学時に困っていることや心配なことを確認しておきましょう。特に、宗教にかかわる食事や服装などの習慣については入学前に十分に聞き取りを行い、その国の文化を理解した上で対応を検討することが大切です。

支援に役立つサイト・ツール

性的マイノリティの児童生徒から 相談があったら

- 性的マイノリティの児童生徒や保護者から相談があった場合の対応フローチャートや、教職員向け理解促進プログラム、授業展開例等が紹介されています。

教職員としての留意点

- 一人一人を大切にすることを日常から実践する
- 偏見や差別の可能性のある言動をしていないか自己チェックする
例) 人権感覚チェックリスト
(県人権教育指導資料【第42・43集】)
- 先入観や思い込み、先走った対応とならないよう人権感覚を磨く
- 不必要な男女区分の見直しをする
- 当事者の同意なしに周囲に伝えること(アウティング)を絶対に行わない

教室・授業における留意点

- すべての児童生徒の人権が尊重され、個性が大切にされるよう、居心地の良い環境づくり・授業づくりに努める
- 児童生徒が性の多様性にふれ、理解を深めることができるよう、保健室や図書室等に性的マイノリティに関連する書籍を置く
- 児童生徒が適切でない発言を行った場合は、指導や説明を適時・適切に行う
- 行事・部活動では性別にかかわらず役割分担が選べるような配慮をする

性的マイノリティに関するページ【教職員用】

<https://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/gakkou/jinken/kyoushyokuin/index.html>



個々の教育的ニーズに対応するために

- 通常の学級の中で、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた支援をするための具体的な実践事例が紹介されています。

特別支援教育に関する資料

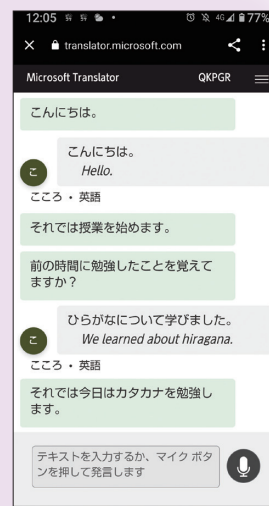
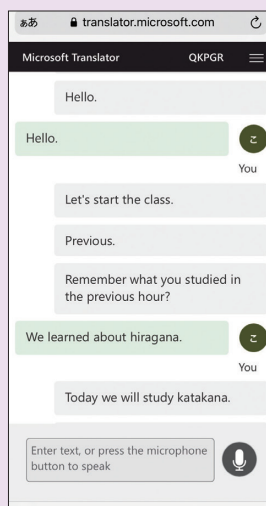
<https://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/gakkou/tokubetsushien/siryoku1.html>



外国人の児童生徒や保護者との 会話の場面で

- タブレットやパソコン、個人のスマートフォンを使って、お互いの言葉をそれぞれの言語に合わせて、リアルタイムに翻訳しながら会話することが可能です。

マイクロソフトトランスレーター
<https://translator.microsoft.com/>
(無料、インストール不要)



令和4年度「人権メッセージ」最優秀作品

〈最優秀グランプリ賞〉

私は、7年前に日本に来た。日本語も話せず、視覚障害があるから、毎日の学校や寮生活は苦しかった。でも、友達や先生方の応援のおかげで、日本語も覚え、視覚障害者なりの生活にも慣れることができた。私達が日々成長していくのは、周りの人達の声があるからだと思う。たとえ文化や国籍が違って、みんな一人一人の人間である。互いを助け合い、認め合い、愛し合うことで、人生も楽しく歩んでいけると思う。だから、みんなも仲間を大切に生きていこう！

(茨城県立盲学校 中学部3年生)

〈最優秀賞〉

ぼくは、このしょうがっこうで、1ばんちいさい。たまにぼくのことを「ちび」っていつてくるこもいるけど、ぼくはちいさくてもぼくがすき。ぼくはぼくだけだから。おおきなこもいれば、かみのいろやめのいろがちがうこもいる。みんなとちがうところがあると、さべつするこもいるけどどうしてだろう。おなじにんげんなのに。みんなとちがうところは、こせいっていうんだって。ぼくはそのこせいは、すてきだなんておもうんだけどな。

(境町立長田小学校 1年生)

〈最優秀賞〉

「差別」という言葉を知りました。どんな意味なのか調べてみると「言葉や肌の色、生活のちがいなどを理由に相手を自分より下にみること」だと分かりました。

わたしの中にそんな心がないか、じっと考えてみると、自分とちがう、ほかの人のことを受け入れられない時があると思いました。そのことはやっぱり「弱い心」なのだと思います。だからわたしは、そういう「弱い心」に負けないよう相手を一人の人として大切にできるようになりたいです。

(筑西市立河間小学校 4年生)

〈最優秀賞〉

私には、大切にしている言葉があります。それは「人は鏡」です。この言葉とは私が中学2年生の時に会いました。「自分で自分を大切にしていれば、相手も自分を大切にしてくれる」「自分が相手を知ろうと努力すれば、相手も同じように考える」という2つの意味が込められています。部活やクラスなど、様々な考えを持つ人がいる中で、時には友人とすれ違うこともありましたが、この言葉に助けられてきました。これからもこの言葉を大切に過ごしたいです。

(神栖市立神栖第四中学校 3年生)

令和4年度茨城県教育研究会 人権教育研究部 編集委員

役職	ブロック	学校名
部長	中央ブロック	水戸市立赤塚小学校
	中央ブロック	小美玉市立小川南中学校
副部長	県北ブロック	常陸太田市立瑞竜中学校
	県東ブロック	潮来市立牛堀中学校
	県南ブロック	土浦市立東小学校
	県西ブロック	結城市立山川小学校
研究推進委員長	県西ブロック	桜川市立桜川中学校
研究推進副委員長	県西ブロック	下妻市立下妻中学校
研究推進委員	中央ブロック	小美玉市立小川北義務教育学校
	県北ブロック	常陸太田市立瑞竜中学校
	県東ブロック	潮来市立牛堀中学校
	県南ブロック	土浦市立東小学校
幹事	県西ブロック	筑西市立明野中学校
	中央ブロック	水戸市立赤塚小学校

表紙は、令和4年度茨城県人権啓発ポスター「最優秀グランプリ」作品
つくばみらい市立伊奈東中学校 3年生

※このリーフレットは、茨城県教育研究会人権教育研究部のWebページからダウンロードできます。